

ACTION

アクション

DETAIL

ディテール

REAR VIEW

リアビュー



ヒジ・ヒザ可動

尾部スラスター可動



MOBILE ARMOR

モビルアーマー形態



DISPLAY STAND ディスプレイスタンド

PMX-000 メッサーラ

PMX-000 メッサーラは、TVシリーズ「機動戦士Ζガンダム」および劇場版「機動戦士Ζガンダム〜星を継ぐ者〜」「機動戦士ΖガンダムII〜恋人たち〜」などに登場する可変MAである。「テンプレーションからのSOSです」ジャブロー降下作戦のため準備を進めていたアーガマは、所属不明のMAに襲撃されたという連邦政府のシャトルからの救難信号を傍受する。降下作戦の準備に追われるアーガマから、メガ・バズーカ・ランチャーの試射を兼ねて百式とガンダムMk-IIが出撃する。「なんでシャトルがビーム攻撃を受けるんだ？」テンプレーションに付きまとうメッサーラを排除すべく、その宙域へと向かうクワトロ大尉とカミーユ。「何い?」「えっ!?!」クワトロのうめきにカミーユが反応したその瞬間、メッサーラが2機の間を突き抜ける。「なに?」「モビルアーマー!?!」すかさずクワトロはメガ・バズーカ・ランチャーを展開、起動すると同時にメッサーラに狙いを定める。「……あれに乗っている者のプレッシャーか」標的が射程に侵入し、クワトロはトリガーに指をかける。「男か!!」再び2機をかすめ、取って返すメッサーラめがけ、クワトロは振り向き様にランチャーを撃つ。しかし、ビームは空しく闇に吸い込まれていった。「避けたんだ!!」「ニュータイプか!?!」辛うじてメッサーラを退けたカミーユとクワトロだったが、パイロットに強いプレッシャーと敵意を感じる。そしてクワトロは、その敵が強力なニュータイプであることを確信していた……。



※画像はイメージです。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。

※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

●本体等パープル部:



ホワイト(50%)
+パープル(40%)
+ブルー(10%)

●本体等ダークブルー部:



パープル(50%)
+ブラック(50%)

●バーニア内側等レッド部:



シャインレッド(40%)
+モンザレッド(40%)
+ニュートラルグレー(20%)

●関節部等:



ホワイト(90%)
+ニュートラルグレー(10%)

●本体等イエロー部:



イエロー(70%)
+ホワイト(30%)
+オレンジイエロー(少量)

●モノアイ等ピンク部:



ピンク(100%)

PMX-000 MESSALA

JUPITORIS PROTOTYPE TRANSFORMABLE MOBILE ARMOR

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : PMX-000
TOTAL HEIGHT : 30.3m
HEAD HEIGHT : 23.0m
WEIGHT : 37.3t
TOTAL WEIGHT : 89.1t
GENERATOR OUTPUT : 4,900kw
THRUSTERS
TOTAL PROPULSION : 96,000kg
MATERIAL :
GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS :
MEGA PARTICLE CANNON
BEAM SABER
MISSILE POD
GRENADE LAUNCHER
ARM CLAW
LEG CLAW
VULCAN GUN



1/144 SCALE

HG

UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO

Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト ▶ www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の責任となります。

機動戦士Ζガンダム

BANDAI 2013 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装してあります。

0182328

BAN DAI

PMX-000 MESSALA

「PMX-000 メッサラ」は、木星圏と地球を往還する資源探掘艦ジュピトリスにおいて設計、開発されたハンドメイドの可変MA(モビルアーマー)である。この機体は、ジュピトリスを率いる天才オペデマス・シロッコによってデザインされた完全なワンオフ機であり、コンセプトも通常の機体とは大きく異なる。もともと木星圏においては、大重力の環境に対応する作業機器が開発、運用されており、これらは基本的に、複雑に干渉し合う木星の大重力を振り切り、母艦との往復を可能とするスペックを持つ。ただし、プロペラントとペイロードの効率を決してよいとは言えず、バーニアスラスターの性能もほぼ限界に達していた。しかし、MS(モビルスーツ)の登場によって状況が一変した。MSはもともと宇宙用の作業機器としての側面を持っており、燃料を必要以上に消費しない姿勢制御技術が兵器として応用された理由のひとつであった。その周辺技術は瞬刻間に木星開発用の機器にも及び、AMBAC機動やスラスターユニットの可変機構を搭載した機器がMSに先行する形で実用化されていた。メッサラは、そのコンセプトに則った機体であり、フレーム構成やデバイスの配置など、地球圏で開発された機体とは異なっているものの、実際には、他の可変MS/可変MAと同様の「可変機」であり、いわゆる収斂進化を果たした機体といえる。この機体は、木星圏からティターンズに召還されたシロッコ自身の手によって調整が続けられていたが、その途上でテンペレーション調整やエーゴのジャブロー降下部隊との交戦が記録されている。その後シロッコはPMX-003 ジェ・Oを乗機としたため、本人が搭乗するケースはほとんどなかったが、本機がグリプス戦役期における傑作機である事は揺るぎない事実である。

連装スラスター

スペック上の総推力は、このユニットのみから算出されたもので、機体各部に配置されたスラスターと合わせた真の総推力は不明。

脚部クロー

MA形態時にも可動肢として機能する。公団系の初期のMAと同様、敵機の捕縛や圧壊が可能なトルクを持つ。

メガ粒子砲

ジェネレーター直結型で戦艦並みの破壊力を発揮する。連装スラスター群と一体化したAMBAC(アクティブ・マス・バランス・オート・コントロール)ユニットでもある。1基あたり機体質量の30%を持っている。

ビーム・サーベル

大型のビーム発振デバイスを内蔵する新撃用の武装。使用時に伸縮する独自の機構を備えたカスタム仕様である。

ミサイル・ポッド

9発のマイクロミサイルを内蔵する。MS形態時のショルダーユニットに相当するが、構造的にはMA形態時にも射出する事が可能。ミサイル先端にはシーカーが内蔵されており、命中精度も高い。

SPEC

型式番号: PMX-000
 全高: 30.3m
 頭頂高: 23.0m
 本体重量: 37.3t
 全備重量: 89.1t
 ジェネレーター出力: 4,900kw
 スラスター総推力: 96,000kg
 装甲材質: ガンダリウム合金
 武装: メガ粒子砲
 ビーム・サーベル/ ミサイル・ポッド
 グレナード・ランチャー
 腕部クロー/ 脚部クロー
 腕部バルカン

機首

MA形態時の超高速機動に対応した各種のデバイスを内蔵する複合センサーアレイとして機能している。

腕部クロー / グレナード・ランチャー

収納式のクローの内側に装弾数3発のグレナード・ランチャーを内蔵している。サブアームの側面にはバルカン砲を内蔵しており、両腕で4門を装備する。クローで敵機をつかんだまま撃つ事ももちろん可能である。

HGUC ※この商品には、「HGUC メッサラ」シリーズラインナップが1セット入っています。

ジャブロー降下作戦に関わるMSをHGUCで確認せよ!

名機RX-78を受け継ぐべく開発された機体と大気圏突入用の装備。

HGUC No.053
ガンダムMk-II+フライングアーマー

初期の濃相から「赤い彗星」を模したカラーになっている。

HGUC No.033
リックディアス(クトロ・パジーナカラー)

エーゴとAE社の「Z計画」で開発された金色のMS。

HGUC No.005 百式

連邦系とジオン系の技術を振り合わせ設計されたザクの改良型。

HGUC No.012
ハイザック

ハイザックをベースに高性能化。複数のビーム兵器を使用可能。

HGUC No.052
マラサイ

△ 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△ 注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- このキットの組み立てには+ (プラス) ドライバーを使いますので別に用意ください。

シールの番号	反対側に取り付けるパーツ	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意	部品を数値の個数作ります	後に組み立てます	どちらかを選んで取り付ける

ドライバーの選び方

※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用するとビスを破損してしまう場合があります。

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

A1パーツ (スチロール樹脂: PS)	A2パーツ (スチロール樹脂: PS)	Bパーツ (スチロール樹脂: PS)	Cパーツ (スチロール樹脂: PS)
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)	Eパーツ (スチロール樹脂: PS)	Fパーツ (ABS樹脂: ABS)	PC-132ABC (ポリエチレン: PE)
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)	SB1パーツ (スチロール樹脂: PS)	● ホイルシール.....1 ● ビス (長い).....2 ● ビス (短い).....2 ● ナット.....3	
		※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。	

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

1 C9・C10 ※きれいに切り取ります。

2 1 (向きに注意) F1 ※切り取らないように注意。

3 C7 PC2 F6

4 3 C8

5 (後に組む) PC8 C15

6 (後に組む) PC8 C14

7 6 E17 E18

8 ※シールは先に貼ります。

9 C6 8

10 7 9

11 F11 C4 (後ろから見た図) F12

12 (向きに注意) F8 (下から見た図) 15 3

13 (後に組む) C12 C13 G7 ※きれいに切り取ります。

14 10 12 13

《組み付け位置》

15 **×2**
このパーツを2個作る
PC2 → B13

16 **×2**
このパーツを2個作る
F10 → D11 → D12 → G6 ※きれいに切り取ります。

17 **×2**
このパーツを2個作る
16 → A210

18 **×2**
このパーツを2個作る
〈組み付け位置〉
PC9 (後に組む) → A213 → A214 → F13 → PC9

19 **×2**
このパーツを2個作る
18 → A216 → G4

20
PC18 → E14 → E2 (向きに注意) → PC13 → E16 ※切り取らないように注意。

21
D15 → 20 → D16 → PC6 (後に組む)

22
21 → G6

23
B5 → G1 → PC10 → 17 → 22 → E5 → E7

24
PC18 → E18 → E16 → PC13 → E1 (向きに注意) ※切り取らないように注意。

25
24 → D14 → PC6

26
G6 → 25 → 19

27
G2 → B4 → PC10 → 17 → E6 → E8 → 26

28 **×2**
このパーツを2個作る
B8 → PC8 (後に組む) → F16 → E4 → B7

29 **×2**
このパーツを2個作る
※切り取らないように注意。
F17 → PC4 → E3 (後に組む)

30 **×2**
このパーツを2個作る
E19 → 29 → E20

31 **×2**
このパーツを2個作る
※きれいに切り取ります。
G3 → F14・F15

32 **×2**
このパーツを2個作る
PC8 → F19

33 **×2**
このパーツを2個作る
B16 → PC9

34 **×2**
このパーツを2個作る
31 → B16 → B6 → 32 → A29 ※きれいに切り取ります。

35 **×2**
このパーツを2個作る
B14 → 34

〈組み付け位置〉
33 → A29

36
F20 → F22 → F23 → F21 (後に組む)

37
F20 → F24 → F25 (後に組む) → F21

38
23 で作った右腕 → 14 で作ったボディ → 27 で作った左腕 → 36 で作った右脚 → 37 で作った左脚

39
D1 → A12 ※きれいに切り取ります。向きをかえます。

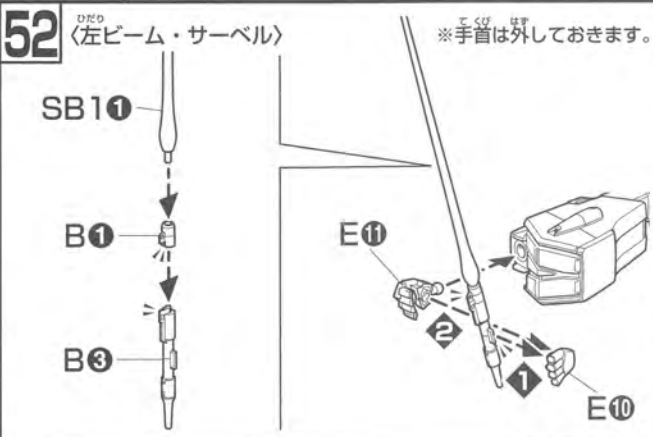
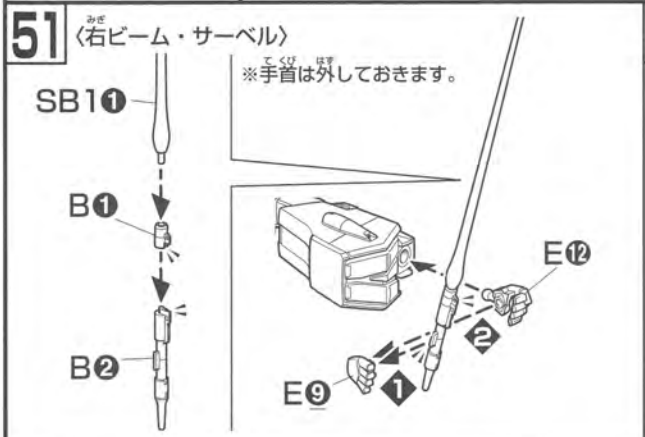
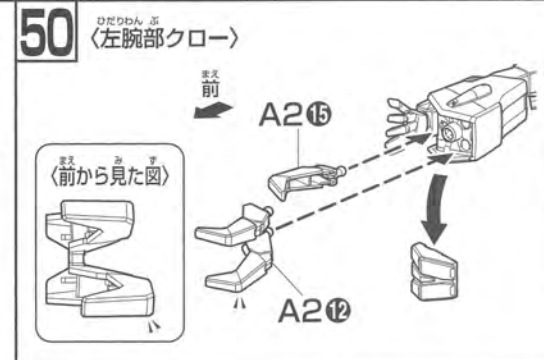
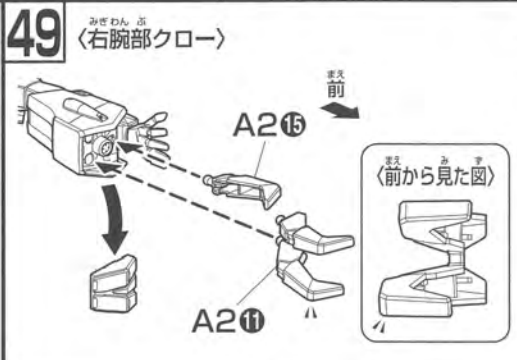
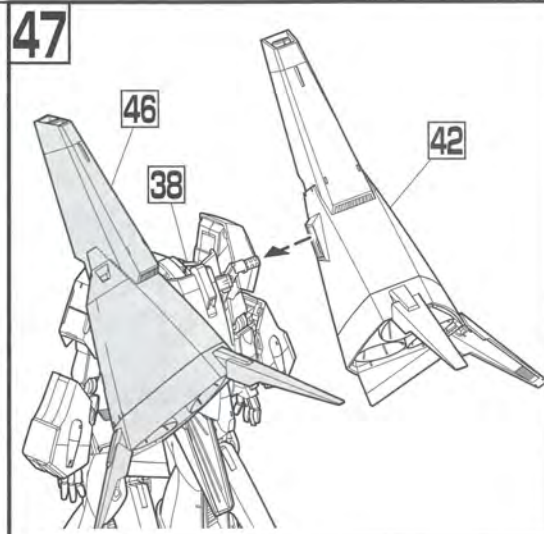
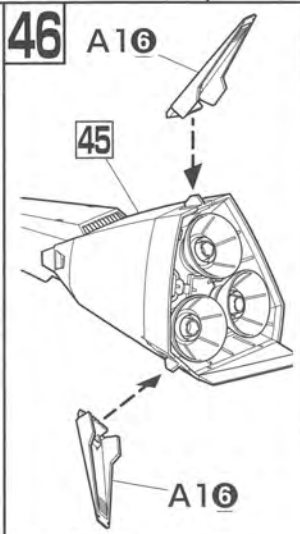
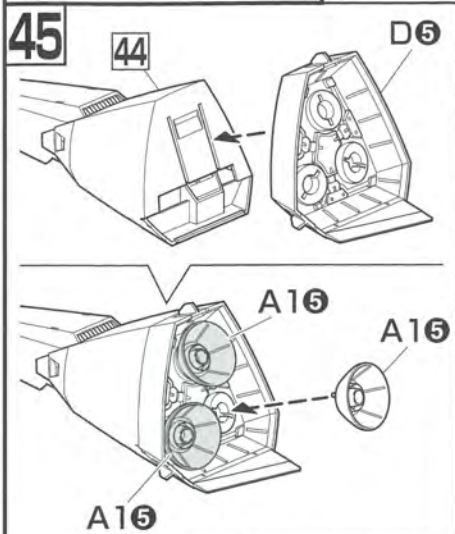
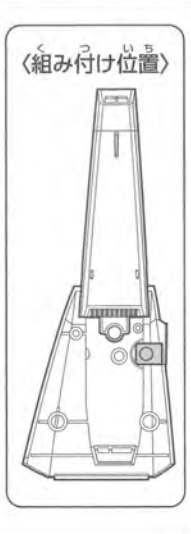
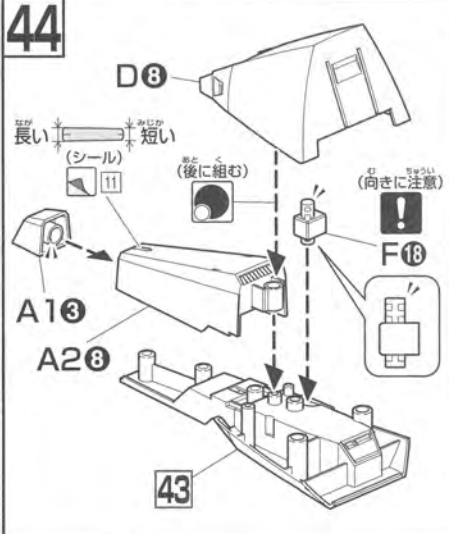
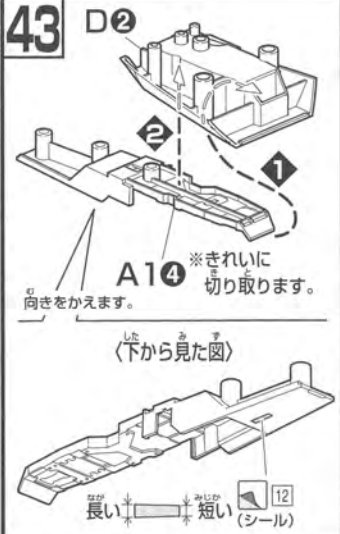
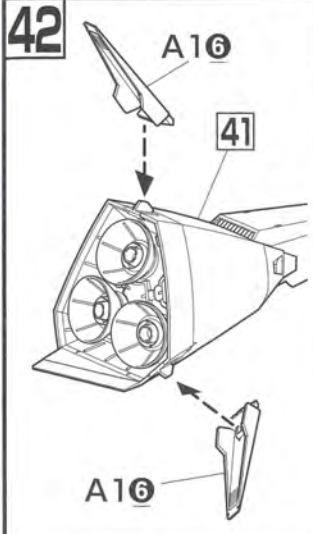
40
D7 → F18 (向きに注意) → A11 → A27 → 39

41
D6 → 40 → A16

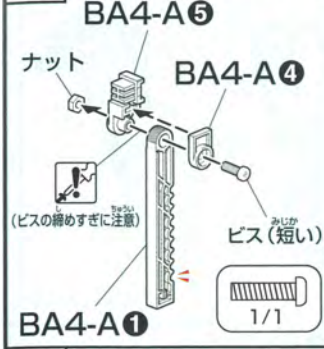
39
〈下から見た図〉
12 短い | 長い (シール)

40
D7 → F18 (向きに注意) → A11 → A27 → 39
短い | 長い (シール)

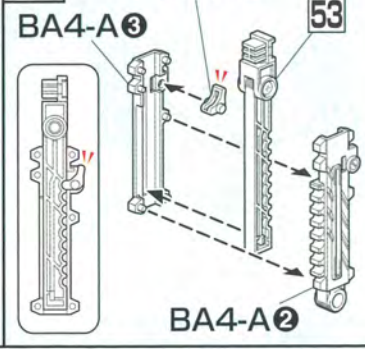
41
D6 → 40 → A16
〈組み付け位置〉



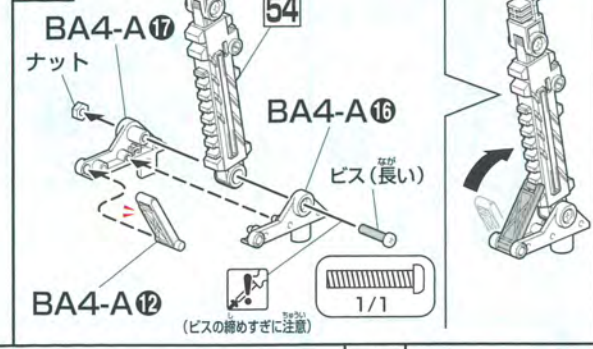
53 <ベースの組み立て>



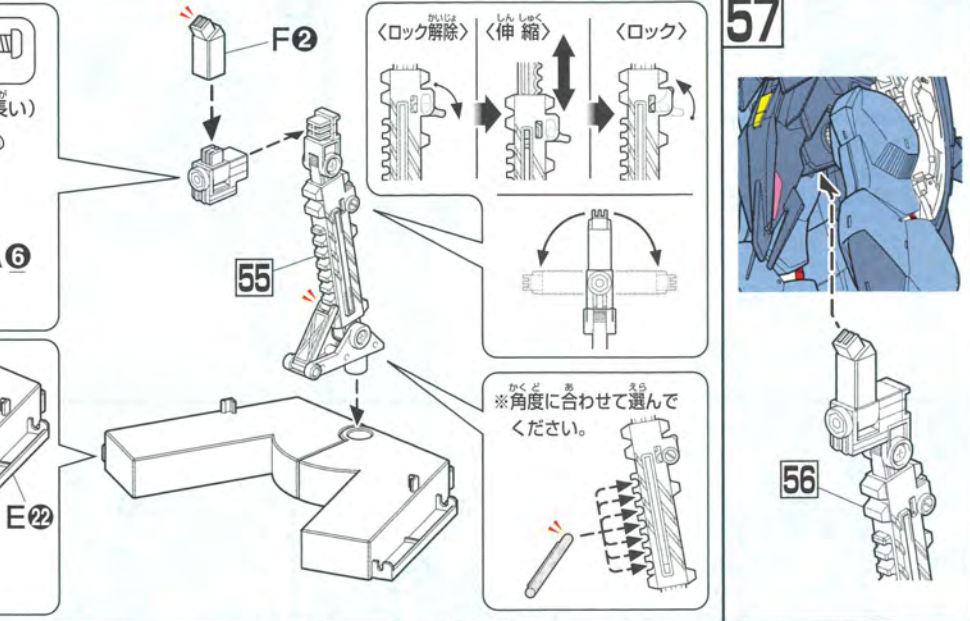
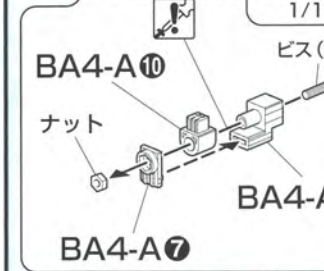
54



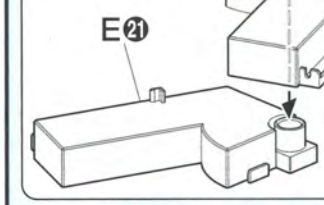
55



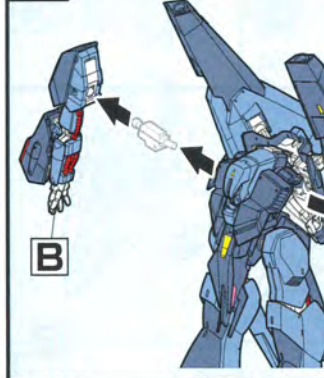
56



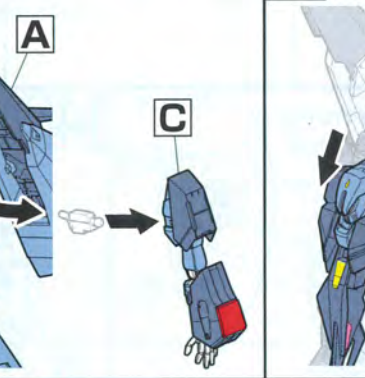
※各部品は、きれいに切り取ります。



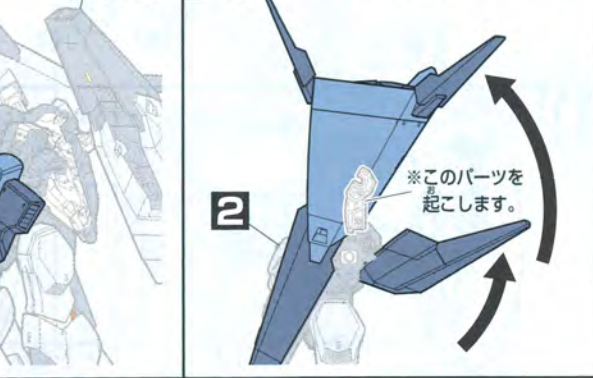
1 <MA形態への変形>



2



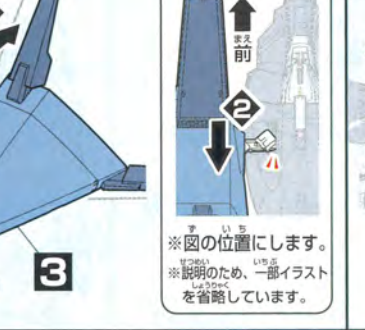
3



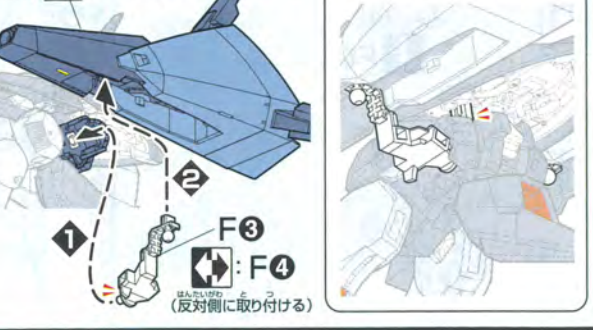
4



5



4



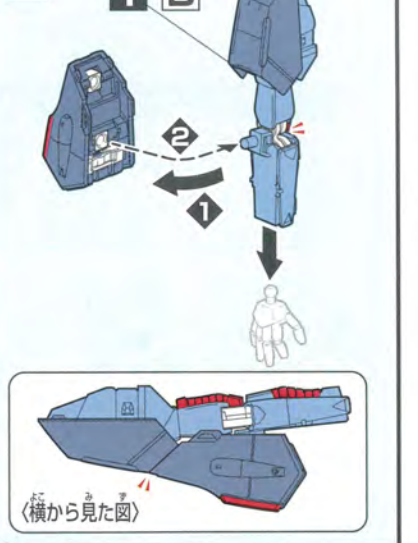
6



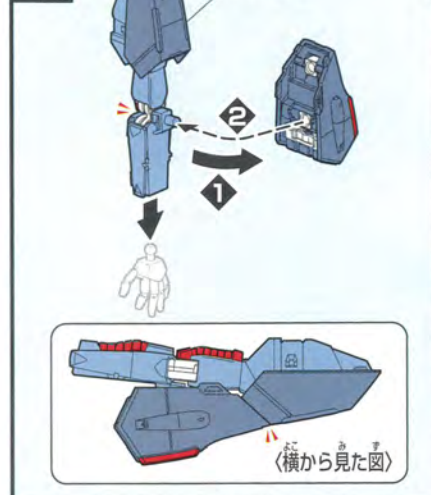
7



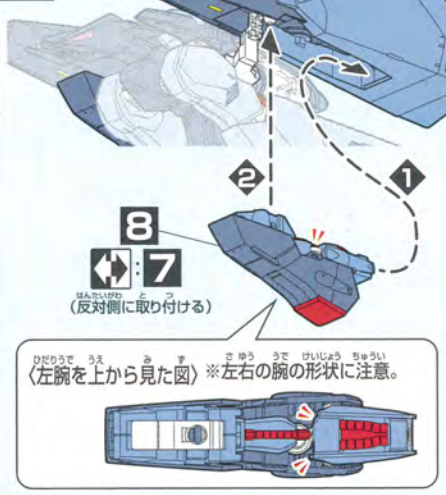
7



8



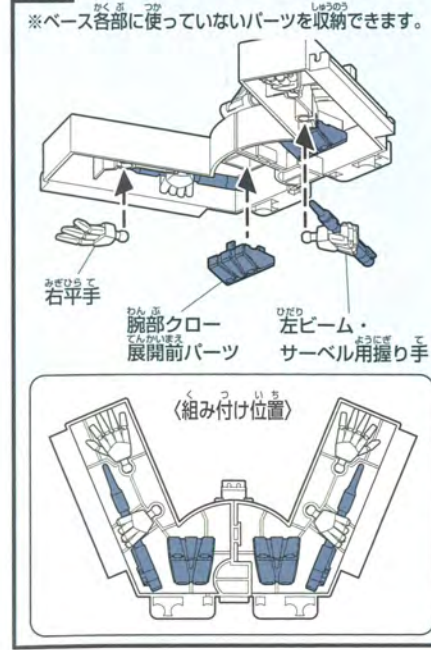
9



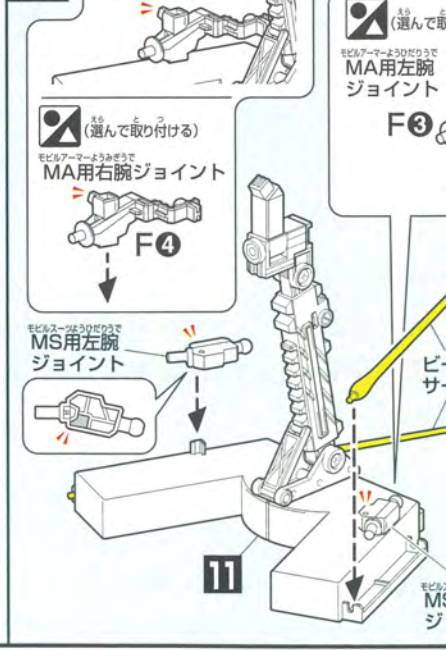
10



11 <ベースの収納>



12



13

